

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農林水産局 総合農政課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 廣田 道夫 (皆木 治男)	内線	3927 (3944)
------	---------------------	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	経営構造対策 事業	事業名	事業区間	総事業費	約4億円
		経営構造対策事業	いなみ 地区		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
加古郡稲美町六分一			H14年度	H15年度

事業の目的	事業内容
<p>生産・流通・加工・販売に至る総合アグリビジネスの展開並びに都市農村交流を進める施設を総合的に整備することにより、担い手となる経営体の確保・育成を通じた地域農業の活性化を図る。 特に本地区は明石市、加古川市等大消費地に接しており、この好条件を生かした施設園芸、花卉などの取組を推進するとともに、農産物の有利販売、販路の拡大等を実現し地域農業全体の発展を目指す。</p> <p>事業主体：稲美町</p>	<p>産地形成促進施設（農産物直売所） 約0.7億円 1棟 500㎡（国50%県6%町44%） 地域食材供給施設（調理販売施設） 約0.9億円 1棟 250㎡（国50%県6%町44%） 農畜産物処理加工施設（特産品加工施設）約0.6億円 1棟 200㎡（国50%県6%町44%） 農林漁業体験施設（農産物加工体験施設）約0.1億円 1棟 50㎡（国40%県0%町60%） 総合交流拠点施設（都市・農村交流施設）約2.0億円 1棟 1000㎡（国50%県0%町50%）</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>稲美町は良品質、良食味米への転換を図る水稻・大麦を中心にトマト、レタス等の他品目複合産地の育成を進める一方、小規模ながらも朝市、観光農園等での農産物の直売、都市交流を試みている。 大消費地を控えた立地条件を生かし、地域で生産される農産物の直売、加工品の生産販売等の有利販売を推進するとともに、都市農村交流を促進する総合アグリビジネスへの展開が求められている。</p> <p>このため、既設観光農園等との連携・イベント開催による交流を図るための総合拠点施設、農産物の販路拡大のための直売所、地域食材の供給施設と併せて都市住民等が農業・農村への理解を深めるための体験施設を一体的に整備し、町域での拠点施設として位置付ける。 地域内の農畜産物の生産拡大・付加価値の向上により、経営体の所得の増大及び雇用機会の拡大、都市住民との交流が進み、魅力ある地域形成が期待できる。</p>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施により次の効果が期待できる。 農産物の直販・加工販売等の有利販売による農家所得増 都市農村の交流 認定農業者の育成 新たな雇用の創出（36名） 投資効率 1.44 用地確保（ため池等整備事業により完成） 地元協力体制も整っている。 施設立地は、天満大池公園に隣接した風光明媚な池畔であり、また主要地方道・県道が交叉する「道の駅」の駐車場、休憩施設と一体的に整備されるため、集客面でも効果が高い。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 農産物は有機栽培・減農薬栽培を基本とした安全な野菜販売、食材づくりを目指しており、作物のみならず周辺環境への負担も軽減できる。 特産品では、規格外屑米のパン加工など未利用資源の有効活用を通じ廃棄物が削減できる。
(4)優先性	<p>本施設は、「道の駅」と一体的に整備することとしているが、このことは「農の時代」や「アグリライフ」の県民等への提案・PRにも効果的であり、また都市住民との交流による担い手（認定農業者）を育成する上でも有効である。さらに、町が整備した天満大池公園機能との連携を図ることによる相乗効果が期待される。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた
-------	------	------	--------------------